

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	1年次前期・後期
科目名称	社会科学Ⅰ・Ⅱ		履修	必修
担当講師	廣瀬 尚生			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	118（Ⅰ：46、Ⅱ：72）		単位時間	
授業計画	4月	政治：民主政治の原理と歴史		
	5月	政治：日本国憲法、基本的人権の歴史		
	6月	政治：国会、内閣、裁判所		
	7月	政治：政党政治と選挙、地方自治、国際政治		
	8月	経済：経済社会の変容と諸学説		
	9月	経済：現代の企業と市場、国民所得と経済成長・景気循環		
	10月	経済：金融、財政		
	11月	日本経済の性格と課題、国際経済		
	12月	労働問題と社会保障		
	1月	社会：現代社会における人間と文化、環境と人間生活		
	2月	問題演習		
	3月	問題演習		
授業概要	政治・経済・社会分野の基本的事項を学習する。			
授業目標	政治・経済・社会分野の基本的事項の理解と知識の定着を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	1年次前期・後期
科目名称	人文科学Ⅰ・Ⅱ		履修	必修
担当講師	廣瀬 尚生			
担当講師の 実務経験の有無	○ 無 ・ 有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義
単位時間数	132 (Ⅰ:60、Ⅱ:72)			単位時間
授業計画	4月	世界史(古代、ギリシャ・ローマ文明)		
	5月	世界史(中世～近世)		
	6月	世界史(近世～近代)		
	7月	世界史(中国史、イスラム史)、期末試験		
	8月	日本史(古代)		
	9月	日本史(中世)、期末試験		
	10月	日本史(武家社会)		
	11月	日本史(江戸時代)		
	12月	日本史(明治時代)		
	1月	地理(世界地理)		
	2月	地理(日本地理)		
	3月	演習、期末試験		
授業概要	世界史・日本史・地理分野の基本的事項を学習する。			
授業目標	世界史・日本史・地理分野の基本的事項の理解と知識の定着を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	1年次前期・後期
科目名称	自然科学Ⅰ・Ⅱ		履修	必履修
担当講師	齋藤 皓正			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義
単位時間数	132 (Ⅰ:60、Ⅱ:72)		単位時間	
授業計画	4月	生物:細胞、組織と器官		
	5月	生物:物質交代とエネルギー交代、恒常性と調節、生殖と発生		
	6月	生物:生殖と発生、遺伝		
	7月	生物:刺激と反応、生態系		
	8月	物理:物体の運動		
	9月	物理:力のつりあい、衝突とエネルギー 期末試験		
	10月	物理:衝突とエネルギー		
	11月	物理:電気と磁気、波動		
	12月	物理:原子物理		
	1月	化学:物質の構造、化学反応		
	2月	化学:物質の状態、酸・塩基・塩		
	3月	化学:酸化・還元、物質の性質 期末試験		
授業概要	生物・物理・化学分野の基本的事項を学習する。			
授業目標	生物・物理・化学の基本的事項の理解と知識の定着を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	1年次後期
科目名称	現代史 I		履修	必履修
担当講師	廣瀬 尚生			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義
単位時間数	32		単位時間	
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月	戦後の世界①(1950～1960年代)		
	2月	戦後の世界②(1970～1990年代)		
	3月	戦後の世界③(1990～2000年代) 期末試験		
授業概要	第二次世界大戦後の世界および日本の歴史を学習する。			
授業目標	現代史の基本的な知識を習得し、理解することを目的とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	1年次前期・後期
科目名称	論理推論Ⅰ・Ⅱ		履修	必履修
担当講師	山蔭 さやか			
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	154 (Ⅰ:82、Ⅱ:72)			単位時間
授業計画	4月	論理命題、集合		
	5月	虫食算、魔方陣、暗号		
	6月	暦、類推、方位・位置		
	7月	順序・比較・計算、試合と勝敗、手順問題		
	8月	論理推論基本問題		
	9月	論理推論基本問題		
	10月	論理推論基本問題		
	11月	論理推論基本問題		
	12月	論理推論基本問題		
	1月	論理推論実戦問題		
	2月	論理推論実戦問題		
	3月	論理推論実戦問題		
授業概要	公務員試験特有の試験科目である課題処理について、論理的思考力と共にその解法を学ぶ。			
授業目標	論理的思考力のトレーニングと解法の理解を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	1年次前期・後期
科目名称	数理推論Ⅰ・Ⅱ		履修	必修
担当講師	山蔭 さやか			
担当講師の実務経験の有無	○・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習	
単位時間数	182 (Ⅰ:90、Ⅱ:92)			単位時間
授業計画	4月	時間・距離・速さ、時計算、仕事算		
	5月	比・割合、濃度、測量		
	6月	平均、年齢算、数		
	7月	順列・組合せ・確率、図形		
	8月	数理推論基本問題		
	9月	数理推論基本問題		
	10月	数理推論基本問題		
	11月	数理推論基本問題		
	12月	数理推論基本問題		
	1月	数理推論実戦問題		
	2月	数理推論実戦問題		
	3月	数理推論実戦問題		
授業概要	公務員試験特有の試験科目である数的処理について、数理的思考力と共にその解法を学ぶ。			
授業目標	数理的思考力のトレーニングと解法の理解を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	1年次前期・後期
科目名称	文章理解Ⅰ・Ⅱ		履修	必修
担当講師	三浦 貴之			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	110 (Ⅰ:38、Ⅱ:72)			単位時間
授業計画	4月	文章読解の基礎、読解基礎問題		
	5月	文章読解の基礎、読解基礎問題		
	6月	文章読解の発展、読解発展問題		
	7月	文章読解の発展、読解発展問題		
	8月	論作文の書き方、論作文演習		
	9月	論作文演習 期末試験		
	10月	論作文演習、読解総合問題演習		
	11月	論作文演習、読解総合問題演習		
	12月	論作文演習、読解総合問題演習		
	1月	論作文演習、読解総合問題演習		
	2月	論作文演習、読解総合問題演習		
	3月	論作文演習、読解総合問題演習 期末試験		
授業概要	論作文の基本的技術を身につけ、問題演習を通じて文章読解力を養う。			
授業目標	論作文の基本的技術と文章読解力の定着を目的とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	1年次前期・後期
科目名称	コンピュータリテラシーⅠ・Ⅱ		履修	必履修
担当講師	佐々木 真弓			
担当講師の 実務経験の有無	○ 無 ・ 有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習	
単位時間数	80 (Ⅰ:44、Ⅱ:36)		単位時間	
授業計画	4月			
	5月			
	6月	コンピュータ入力基礎		
	7月	文書処理技能検定対策		
	8月	文書処理技能検定対策		
	9月	文書処理技能検定対策		
	10月	文書処理技能検定対策		
	11月	文書処理技能検定対策		
	12月	文書処理技能検定対策		
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	パソコンを用いた日常的な文書処理の知識および技能の習得を行う。			
授業目標	Word検定3級の取得を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)	開講時期	1年次前期・後期
科目名称	職業能力基礎Ⅰ・Ⅱ	履修	必修
担当講師	山蔭 さやか		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有（ ）		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習
単位時間数	80（Ⅰ：44、Ⅱ：36）		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月	一般常識試験対策 及び SPI対策講座	
	7月	一般常識試験対策 及び SPI対策講座	
	8月	一般常識試験対策 及び SPI対策講座	
	9月	一般常識試験対策 及び SPI対策講座	
	10月	一般常識試験対策 及び SPI対策講座	
	11月	一般常識試験対策 及び SPI対策講座	
	12月	一般常識試験対策 及び SPI対策講座	
	1月	一般常識試験対策 及び SPI対策講座	
	2月	一般常識試験対策 及び SPI対策講座	
	3月	一般常識試験対策 及び SPI対策講座	
授業概要	就職用一般常識試験対策及びSPI対策講座を学生自身の進路希望に応じて学習をする。		
授業目標	各科目で学習する知識の習得や検定合格などを目標とする。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	1年次前期・後期
科目名称	スポーツ実技Ⅰ・Ⅱ		履修	必履修
担当講師	山蔭 さやか、委託講師			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習	
単位時間数	52 (Ⅰ:16、Ⅱ:36)			単位時間
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月	スポーツ実習 1		
	8月	スポーツ実習 2		
	9月	スポーツ実習 3		
	10月	スポーツ実習 4		
	11月	スポーツ実習 5		
	12月	スポーツ実習 6		
	1月	スポーツ実習 7		
	2月	スポーツ実習 8		
	3月			
授業概要	実践的に団体行動や規律行動を行い、判断能力や瞬発力の維持と向上を図る。			
授業目標	スポーツ各競技に実践的に取り組み、身体能力の維持と向上を図る。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	1年次前期・後期
科目名称	キャリア研究Ⅰ・Ⅱ		履修	必履修
担当講師	山蔭 さやか			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	66（Ⅰ：30、Ⅱ：36）		単位時間	
授業計画	4月	国家行政組織研究		
	5月	国家行政組織研究		
	6月	地方行政組織研究		
	7月	地方行政組織研究		
	8月	公安系職種研究		
	9月	鉄道関係職種研究、郵政関係職業研究		
	10月	希望進路に基づく自由研究		
	11月	希望進路に基づく自由研究		
	12月	希望進路に基づく自由研究		
	1月	希望進路に基づく自由研究		
	2月	希望進路に基づく自由研究		
	3月	希望進路に基づく自由研究		
授業概要	我が国の主な行政組織や民間企業について、その組織概要や特色、人事制度などについて研究をして理解をする。また、後期には、これまでの研究を活かして、自己の進路希望に応じて自由研究を行う。			
授業目標	我が国の主な行政組織や民間企業についての理解と、自己の進路希望に基づく自由研究の達成を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	1年次前期
科目名称	基礎教養演習		履修	必履修
担当講師	山蔭 さやか			
担当講師の 実務経験の有無	無・ ☒ 有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	30		単位時間	
授業計画	4月	基本総合演習(教養科目他)		
	5月	基本総合演習(教養科目他)		
	6月	基本総合演習(教養科目他)		
	7月	基本総合演習(教養科目他)		
	8月	基本総合演習(教養科目他)		
	9月	基本総合演習(教養科目他)		
授業概要	演習を通じて学習してきた知識の定着を図り、基礎力を養う。			
授業目標	学習してきた知識の定着と基礎力の養成を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	1年次後期
科目名称	応用教養演習		履修	必修
担当講師	山蔭 さやか			
担当講師の 実務経験の有無	無・ ☒ 有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	52		単位時間	
授業計画				
	10月	応用総合演習(教養科目他)		
	11月	応用総合演習(教養科目他)		
	12月	応用総合演習(教養科目他)		
1月	応用総合演習(教養科目他)			
2月	応用総合演習(教養科目他)			
3月	応用総合演習(教養科目他)			
授業概要	演習を通じて学習してきた知識の定着を図り、応用力を養う。			
授業目標	学習してきた知識の定着と応用力の養成を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	2年次前期
科目名称	社会科学演習		履修	必履修
担当講師	廣瀬 尚生			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位時間数	120		単位時間	
授業計画	4月	基本問題演習		
	5月	基本問題演習		
	6月	応用問題演習		
	7月	応用問題演習		
	8月	総合問題演習		
	9月	総合問題演習		
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	社会科学で学習した基本的事項を確認し、出題傾向を分析しながら演習を行う。			
授業目標	社会科学の基本的事項の知識の定着を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	2年次前期
科目名称	人文科学演習		履修	必履修
担当講師	廣瀬 尚生			
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位時間数	132		単位時間	
授業計画	4月	世界史問題演習		
	5月	世界史問題演習		
	6月	日本史問題演習		
	7月	日本史問題演習		
	8月	地理問題演習		
	9月	総合問題演習		
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	人文科学で学習した基本的事項を確認し、出題傾向を分析しながら演習を行う。			
授業目標	人文科学の基本的事項の知識の定着を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	2年次前期
科目名称	現代史Ⅱ		履修	必修
担当講師	廣瀬 尚生			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有（			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	2年次前期
科目名称	自然科学演習		履修	必履修
担当講師	齋藤 皓正			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位時間数	132		単位時間	
授業計画	4月	生物問題演習		
	5月	物理問題演習		
	6月	化学問題演習		
	7月	地学問題演習		
	8月	総合問題演習		
	9月	総合問題演習		
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	自然科学で学習した基本的事項を確認し、出題傾向を分析しながら演習を行う。			
授業目標	自然科学の基本的事項の知識の定着を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	2年次前期
科目名称	論理推論演習		履修	必履修
担当講師	山蔭 さやか			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位時間数	120		単位時間	
授業計画	4月	基本問題演習		
	5月	基本問題演習		
	6月	応用問題演習		
	7月	応用問題演習		
	8月	発展問題演習		
	9月	発展問題演習		
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	論理推論で学習した基本的事項を確認し、出題傾向を分析しながら演習を行う。			
授業目標	演習通じて、論理的思考力の向上を図り、応用問題に対応できることを目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	2年次前期
科目名称	数理推論演習		履修	必履修
担当講師	三浦 貴之			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位時間数	120		単位時間	
授業計画	4月	基本問題演習		
	5月	基本問題演習		
	6月	応用問題演習		
	7月	応用問題演習		
	8月	発展問題演習		
	9月	発展問題演習		
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	数的推理で学習した基本的事項を確認し、出題傾向を分析しながら演習を行う。			
授業目標	演習を通じて数的思考力の向上をはかり、応用問題に対応できることを目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	2年次後期
科目名称	文章演習		履修	必履修
担当講師	三浦 貴之			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	演習
単位時間数	92		単位時間	
授業計画	4月	論作文演習、読解総合問題演習		
	5月	論作文演習、読解総合問題演習		
	6月	論作文演習、読解総合問題演習		
	7月	論作文演習、読解応用問題演習		
	8月	論作文演習、読解応用問題演習		
	9月	論作文演習、読解応用問題演習		
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	文章理解Ⅰ、Ⅱで学んだことを活かし、論作文の基本的、応用的技術を向上させ、問題演習を通じて文章読解力の向上を図る。			
授業目標	論作文の基本的、応用的技術を身につけ、文章読解力の向上を目的と			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	2年次前期
科目名称	時事問題研究		履修	必修
担当講師	廣瀬 尚生			
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	28		単位時間	
授業計画	4月	日本政治、国際政治情勢		
	5月	日本経済、経済政策		
	6月	財政、世界経済		
	7月	労働、文部科学		
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	時事問題について、その原因や理由を把握し、現在の状況などを理解する。			
授業目標	時事問題を理解することを目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	2年次前期
科目名称	キャリア研究Ⅲ		履修	必修
担当講師	廣瀬 尚生			
担当講師の実務経験の有無	○無 ・ 有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	28		単位時間	
授業計画	4月	希望進路に基づき、行政機関や民間企業の業務・取組みなどを研究		
	5月	希望進路に基づき、行政機関や民間企業の業務・取組みなどを研究		
	6月	希望進路に基づき、行政機関や民間企業の業務・取組みなどを研究		
	7月	希望進路に基づき、行政機関や民間企業の業務・取組みなどを研究		
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	希望進路に基づき、行政機関や民間企業の業務や取組みなどについて研究をして理解をする。			
授業目標	自己の進路希望に基づく研究の達成を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	2年後期
科目名称	計算実務		履修	必履修
担当講師	廣瀬 尚生			
担当講師の 実務経験の有無	☒ 無 ・ 有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	112		単位時間	
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	度量衡の換算、純量対価の計算		
	11月	商品売買、試算表		
	12月	手数料、割引料の計算		
	1月	商品有高帳、その他商業計算		
	2月	伝票計算、計算問題演習		
	3月			
授業概要	ビジネス社会において、最も重要な技能である経理知識・技術などについて学習をする。			
授業目標	基本的な経理知識・技術の習得を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	2年後期
科目名称	秘書技能		履修	必履修
担当講師	廣瀬 尚生			
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	112		単位時間	
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	社会人の心構え、求められる素質		
	11月	社会常識		
	12月	ビジネスマナー、接遇一般		
	1月	ビジネスマナー、接遇一般		
	2月	ビジネス文書の定型文、文書取扱、資料やグラフの見方		
	3月			
授業概要	ビジネス文書作成知識を学ぶのみならず、社会常識や一般的なビジネスマナーや接遇マナーについて学習する。			
授業目標	一般的なビジネスマナーや接遇マナーを身につけ、基本的なビジネス文書作成知識の習得を目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	2年後期
科目名称	異文化研究		履修	必履修
担当講師	廣瀬 尚生、三浦 貴之、委託講師			
担当講師の 実務経験の有無	(無) ・ 有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	講義・演習
単位時間数	28		単位時間	
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	研究① アジア地域の文化		
	11月	研究② その他地域の文化		
	12月	研究③ 我が国の文化との差異		
	1月	交流① 相手を知ることが目的とした交流		
	2月	交流② 双方が理解しあうことが目的とした交流		
	3月			
授業概要	アジア地域を中心とした異文化について広く学習する。			
授業目標	我が国と異なる文化・習俗の知識を身につけるのが目標である。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	2年後期
科目名称	コンピュータリテラシーⅢ		履修	必履修
担当講師	佐々木 真弓			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日		授業の方法	実習
単位時間数	56		単位時間	
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	表計算ソフトの基本操作		
	11月	表計算ソフトの基本操作		
	12月	表計算ソフトの応用技能		
	1月	表計算ソフトを用いた文書の作成(基本)		
	2月	表計算ソフトを用いた文書の作成(応用)、期末試験		
	3月			
授業概要	表計算ソフトの技能を学習する。			
授業目標	表計算ソフトの操作、技能を定着させる。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

2025年度 シラバス

開講区分	法律行政学科 (初級公務員・鉄道・郵政コース)		開講時期	2年後期
科目名称	総合講座A・B		履修	必履修
担当講師	各講座毎で担当講師が異なるため未記載			
担当講師の 実務経験の有無	(無)・有 ()			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義・演習	
単位時間数	112 (A:56、B:56)		単位時間	
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月	各選択科目で講義・演習		
	11月	各選択科目で講義・演習		
	12月	各選択科目で講義・演習		
	1月	各選択科目で講義・演習		
	2月	各選択科目で講義・演習		
	3月	各選択科目で講義・演習		
授業概要	選択科目A・B毎で1科目ずつ合計2科目を任意選択して学習をする。毎年度で開講科目は異なるが、例として法律系選択科目、コンピュータ系選択科目、語学系選択科目、ビジネス系選択科目などで構成される。			
授業目標	各選択科目で学習する知識の習得や検定合格などを目標とする。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			